



光星・越智4回10K 八北打線 糸口つかめず



【八戸北―八学光星】4回まで毎回三振を奪い、無失点に抑えた八学光星先発の越智（六戸メイブル）

【評】八学光星は、初回1死満塁で藤原の左前に直球も低めに伸びると、池田も2点適時打を打ち計4得点、四回には打者一巡で大量7点を加えて五回コールド勝ちした。先発の越智は4回を投げ、毎回の計10奪三振と好投。

八戸北の先発榎本は打たせて取る投球で一時立ち直ったか見えたりが、四回に相手打線に再びつかまった。打線も無安打に終わった。

◆4回を無失点に抑えた八学光星の先発越智（3年） 初回の味方の大量得点で気持ちを乗せに投げられた。変化球のス

ライターの追ったコースに決まり、目を重ねると、制球に自信がなくなり、先頭打者を四球で出してしまった。二回の投球は課題。準々決勝はいつも出られるよう準備して臨みたい。

◆前日の完投に続き四回に登板した八戸北の三戦目ケ久保（3年） 疲れは少し残っていたが、意地でも全力投球しようとの臨み、悔いのない投球ができた。きょうは今ままで一番素晴らしい相手と戦えたと思う。2年生はきょうの経験を生かし、これからのチームを引っ張ってほしい。